

12 月 議 会 報 告



不妊症・不育症について

制度の周知、心理的なケアを行うグリーンフケアの実施について質問したところ、「不妊・不育ホットライン」を開設、ホームページで周知をしているとのことでした。子育て世代包括支援センターで臨床心理士、保健師および助産師等の専門職が個別に相談に応じているそうです。

マイナンバーカードの普及について

これまでの取り組みについては、専用タブレットを使った写真の無料撮影と申請サポートを月曜から金曜の毎日に拡大し、市役所一階中央ロビーに特設会場を設置、木曜夜間窓口でも受け取りができるようにしたとのことでした。

市民センターや図書館へ出張、市役所内のマルチコピー機の設置も要望しました。

湖城のぶこの議会質問が 公明新聞で紹介されました

公明新聞 2021年12月12日付 東京・山梨版

不育症 検査・治療の支援訴え

湖城宣子議員は、妊娠しても流産や死産を繰り返す不育症について、検査・治療費に市独自の支援を行うよう求めた。

青梅市

湖城 宣子 議員



湖城宣子議員は、妊娠しても流産や死産を繰り返す不育症について、検査・治療費に市独自の支援を行うよう求めた。

回10万円かかるケースもあり、治療費が加わると、患者の経済的負担が重いと指摘。独自の支援策を上乗せしている他自治体の事例を紹介し、「青梅市も独自の支援を」と訴えた。

市側は「国や都などの動向を注視し、研究していく」と応えた。

©公明新聞

《ご意見をお寄せください》

TEL : 0 4 2 8 - 2 2 - 7 1 4 4

E-mail : okubon1027@yahoo.co.jp



ホームページ



Twitter



facebook

